

北海道立図書館と株式会社北菓楼との相互協力協定について

2018.3.13

道立図書館

1 協定について

- このたびの協定は、平成28年7月に実施した「90周年道立図書館まつり」において、旧北海道庁立図書館を店舗とし、同名のお菓子を販売している株式会社北菓楼様にご協力をいただき、お菓子販売ブースを出店していただいた縁から、相互に連携・協力した事業を実施していきたいとの双方の思いにより締結に至ったものであり、読書の普及や読書活動の振興に向けてイベントの共催や交流・協働事業に取り組み、広く道民の皆様に還元しようとするものです。

2 建物の歴史

- 「北菓楼札幌本館」の建物は、道立図書館の前身である「北海道庁立図書館」として、後の昭和天皇である摂政宮殿下行啓のおり、教育振興のために御内帑金（ごないどきん）をたまわった記念事業として、大正15年に建設されました。その後、名称を昭和26年に「北海道図書館」、昭和39年に「北海道立図書館」と改称して、昭和42年に現在の江別市へ移転するまで図書館として使用されていました。
- 道立図書館移転後は、昭和42年から道内最初の美術館となる「北海道立美術館」、さらに、昭和52年から「北海道道立三好好太郎美術館」、昭和60年から「北海道立文書館別館」として使用された歴史があります。
- そして、株式会社北菓楼様の札幌市での拠点「北菓楼札幌本館」として、平成28年3月18日に新しく生まれ変わってオープンし、協定締結日に満2周年を迎えます。

3 当面の連携事業

手始めとして次の事業を、いずれも「北菓楼札幌本館」店内で実施します。

- 旧北海道庁立図書館の構造模型（図書館所蔵）展示

※作成者：木口造形研究所 作成年：昭和41年 縮尺：1/100

- 北海道立図書館を紹介する資料展示

※紹介パネルの展示、リーフレットの配架等

- 北海道150年事業「ふるさと動画DVD」のPR放映等

※「ふるさと動画DVD」は、今年度、北海道150年事業として、道立図書館が所蔵する、主に1950年代から60年代における道内各地域の発展の歴史や文化等を記録した16ミリフィルムのうち115作品をデジタルDVD化したもので、広く一般に貸し出すとともに、ホームページ上でダイジェスト版を公開している。